

## シリーズ1 フォルクローレ曲のコード付け①

フォルクローレの曲のコード付けについてのお役立ち情報です。  
このシリーズでは、フォルクローレで使われるキーが殆どAm、Em  
であることから、この2つについて実践的に考えてみます。

まず、実際のコード付けの前に基礎知識と手順をチェックし  
ます。

### ①その曲が何調か？最後の音、最初の音でチェック

Am（＃なし）の曲→最初の音はラ・ド・ミ      最後の音はラ  
Em（＃1個）の曲→最初の音はミ・ソ・シ      最後の音はミ

### ②使用できるコードをチェック（短音階では3つの音階があります）

#### ◎Amの音階コード（ダイアトニックコードという）をチェック

	I	II	III	IV	V	VI	VII	
曲の中に＃ソがない	Am	Bdim	C	Dm	Em	F	G	自然短音階
曲の中に＃ソがある	Am	Bdim	C	Dm	E	F	G	和声短音階
曲の中に＃ソ＃ファ	Am	Bdim	C	D	E	F	G	旋律短音階

Amの主要3和音→Am（I トニック）

DmまたはD（IVサブドミナント）

EmまたはE（Vドミナント）

Bdimは使用しなくてもOKなので1つの音階で使うのは6個です。  
Em E Dm Dは上記曲の短音階種類によって使い分けますが、1曲の  
中でまれに混在する場合があります。

#### ◎Emの音階コードをチェック（五線のファに＃です）

	I	II	III	IV	V	VI	VII	
曲の中に＃レがない	Em	F#dim	G	Am	Bm	C	D	自然短音階
曲の中に＃レがある	Em	F#dim	G	Am	B	C	D	和声短音階
曲の中に＃レ＃ド	Em	F#dim	G	A	B	C	D	旋律短音階

Emの主要3和音→Em（I トニック）

AmまたはA（IVサブドミナント）

BmまたはB（Vドミナント）

F#dimは使用しなくてもOKなので1つの音階で使うのは6個です。  
Am A Bm Bは上記曲の短音階種類によって使い分けますが、1曲の  
中でまれに混在する場合があります。

### ③コード付けの手順

前述のようにAmキーEmキーとも最低6個のコードが使用できますが、曲全体を主要3和音であてはめることができます。ただ、曲想が単調になるという欠点があります。

そこで最初に主要3和音でコード付けを行い、次にC F G (Amキー) G C D (Emキー)のコードで部分的に置き換えます。(代理コードという)

### ④主要3和音に代理として使えるコード

Amキーは

Am→CとF Dm→FとG Em→G

Emキーは

Em→GとC Am→CとD Bm→D

代理の選択は、メロディーの音を多く含むコードを当てはめます

### ⑤コード付け留意点

- ★4拍子、6／8は1小節を2分割してコード割り付け
- ★基本的には、小節内の音がコードに該当する数の多いものにする
- ★小節内最後の音でジャンプしている音に注意。ジャンプしている音はコード音になるようにする。  
ジャンプとは3度以上 ド→ミなど
- ★ドミナントモーションになるべくするように(コード進行が良い)  
前のコードが後ろコードから見て4度下 G→C (ドミナントモーションという)や  
Em→Am E7(E)→Am Bm→Em B7(B)→Em など
- ★V→II V→IVの進行はあまりよくないと言われている。
- ★主要3和音が多く続く時は途中で代理を使う
- ★代理コードに置き換える時は、なるべく曲想を考えながら流れを作る。あまりランダムな感じにならないように注意する。

※今回使いませんが参考です：メジャー(長音階)の代理コード

メジャーの音階コードは1つです

I	II	III	IV	V	VI	VII
C	Dm	Em	F	G	Am	Bmdim

Cキーの代理コードは

C→EmとAm F→Dm

以下にジョランドセフェ(Em)とタイピカラ(Am)の事例です  
緑が主要3和音で赤が代理コードを使ったものです。

今回は音階コードのみですが、このコード以外にも、いくつか使うことができるコードがあります。その事例は、次回ということにします。

# Llorando Se Fue (Saya)

Em音階 Em F#dim G Am(A) B(Bm) C D  
代理→ G,C C,D D

The musical score is presented in five systems, each with a vocal line (S1-2) and a piano accompaniment line (Ch). The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 2/4. The score includes various musical notations such as rests, notes, and chords. Chords are indicated by letters above the notes, with some in red and some in green. A double bar line with repeat dots is used at the end of the first system. A 'DS' (Da Capo) marking is present at the end of the third system. The score concludes with the instruction '以下同じ→' (Same as below) above the final measures.

レ#やド#がないのでEmの自然短音階とします。

11小節目はシラであり最初の小節なのでEm

12小節目はソファミで2音がEm

13小節目はミソファミで3音がEm→Cに置き換え

15, 16小節目はシで段落となるのでEm→Gに置き換え

14小節目はレミシラで2音がBmかつEmの前の終止型なのでBm V→I →Dに置き換え

17~22小節は繰り返して同じ

23小節はラララソで最後の音がドにジャンプしているがソはAmの4和音の1つなのでAm

24はドドミで3音がAm→Cに置き換え

25はシラソで2音がEm→Gに置き換え

26はドミソで2音がAm→Cに置き換え

27もファミでファは経過音と考えるとAm→Cに置き換え

28レミレでBmの音が2でBm、また後ろがEmなのでBm→Dに置き換え

29, 30小節目は段落となるのでEm

31~38小節は繰り返して同じ

主要3和音のコード付けは多少無理なところもです。26, 27小節などはドミソの流れなので代理のCの方がしっくりします。

このコード付けが絶対ではありません。曲の盛り上がりや曲想を考えていろいろトライしてください。

# Taypikara (Wayno)

Am音階 Am Bmdim C Dm(D) Em(E) F G  
代理→ C,F F,G G

Moderato (♩=70)

3Am Am CAmG EmGEmDm EmDmG Am Am CAm G

9 EmGEmDm EmDmG Am Am C C Am Am C C Am Am

17 Am C F C F C Dm Em Am

25 DAm C F C F C Dm Em Am

ソ#やファ#がないのでAmの自然短音階とします。

- 3小節目はミラであり最初の小節なのでAm
- 4小節目はラドラでAm、ド→Cに置き換え、ソのEmを→Gに置き換え
- 5小節目はミソミでEm、ソを→Gに置き換え、レでDm
- 6小節目はシでEm、レでDm、シドでEmを→Gに置き換え
- 7小節目はラでAm
- 8～11小節は繰り返して同じ
- 12～16小節目はすべてAmですが一部Cに置き換え
- 18小節目ソミでEm→Cに置き換え
- 19小節目はAm→Fに置き換え
- 20小節目も18に同じくEm→Cに置き換え
- 21、22も同様に→F,Cに置き換え
- 23小節目はDm,EmをまとめてGでもOK
- 25～32小節は繰り返して同じ